

# デジタル地図帳 指導計画 ～未来を支える食料生産～

指導計画 (全1時間)

デジタル地図帳活用のタイミング

オリエンテーション		
1		
予 想 順 位	の 農 産 物 の 産 地	ま と め 白 地 図

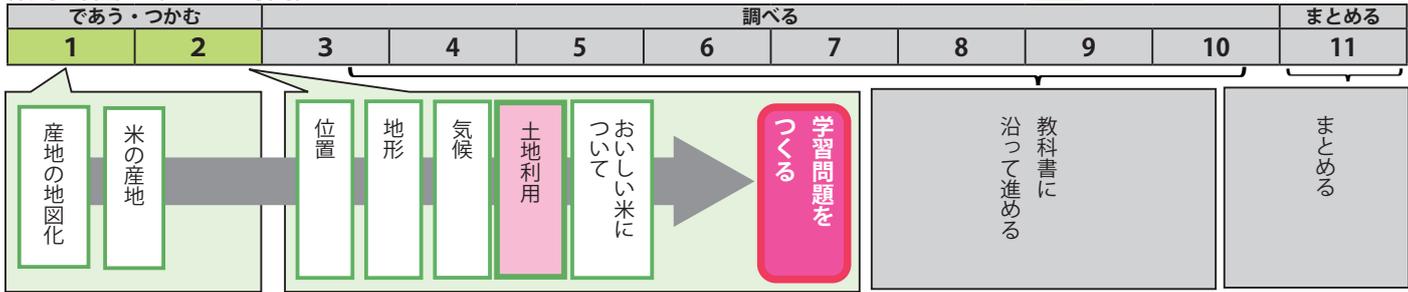
**【活用のポイント】** 児童が主な食料の産地の特色を白地図にまとめるときに活用する。

展開	時間	授業項目	○学習活動 ・児童の反応	◆指導のポイント <span style="color: blue;">知</span> <span style="color: purple;">思</span> <span style="color: green;">主</span> 評価の観点																																																																																																			
オリエンテーション	1/1	全国からとどく食料	<p><b>問い:わたしたちが住む都道府県の米、野菜、果物、畜産、水産物の生産は、全国で何位でしょうか。</b></p> <p>○わたしたちが住む都道府県で、米、野菜、果物(果実)、畜産、水産物(漁業生産量)の全国順位を予想して、実際の順位を統計コンテンツで調べよう。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: small; margin-right: 10px;"> <thead> <tr><th>順位</th><th>都道府県</th><th>生産額(億円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>北海道</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>2</td><td>秋田県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>3</td><td>山形県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>4</td><td>福島県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>5</td><td>宮城県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>6</td><td>茨城県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>7</td><td>栃木県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>8</td><td>群馬県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>9</td><td>埼玉県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>10</td><td>千葉県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>11</td><td>東京都</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>12</td><td>新潟県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>13</td><td>富山県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>14</td><td>石川県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>15</td><td>福井県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>16</td><td>岐阜県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>17</td><td>静岡県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>18</td><td>愛知県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>19</td><td>岐阜県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>20</td><td>和歌山県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>21</td><td>徳島県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>22</td><td>高知県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>23</td><td>香川県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>24</td><td>愛媛県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>25</td><td>高知県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>26</td><td>福岡県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>27</td><td>佐賀県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>28</td><td>熊本県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>29</td><td>大分県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>30</td><td>鹿児島県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>31</td><td>沖縄県</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>計</td><td>全国</td><td>7,347,000</td></tr> </tbody> </table> <div style="margin-left: 10px;"> <p>スライド 2</p> <p>ワーク 問題 1</p> </div> <p style="text-align: center;">米の統計</p> <p>・自分の県で作っていない産物はどこからきているのかな。</p> </div>	順位	都道府県	生産額(億円)	1	北海道	200,000	2	秋田県	200,000	3	山形県	200,000	4	福島県	200,000	5	宮城県	200,000	6	茨城県	200,000	7	栃木県	200,000	8	群馬県	200,000	9	埼玉県	200,000	10	千葉県	200,000	11	東京都	200,000	12	新潟県	200,000	13	富山県	200,000	14	石川県	200,000	15	福井県	200,000	16	岐阜県	200,000	17	静岡県	200,000	18	愛知県	200,000	19	岐阜県	200,000	20	和歌山県	200,000	21	徳島県	200,000	22	高知県	200,000	23	香川県	200,000	24	愛媛県	200,000	25	高知県	200,000	26	福岡県	200,000	27	佐賀県	200,000	28	熊本県	200,000	29	大分県	200,000	30	鹿児島県	200,000	31	沖縄県	200,000	計	全国	7,347,000	<p>◆4年生の都道府県学習を踏まえて、自分たちが住む都道府県の食料生産の特色をつかませる。</p> <p><span style="color: blue;">知</span> 我が国では、様々な農産物が生産されていることを理解できる。</p>
			順位	都道府県	生産額(億円)																																																																																																		
1	北海道	200,000																																																																																																					
2	秋田県	200,000																																																																																																					
3	山形県	200,000																																																																																																					
4	福島県	200,000																																																																																																					
5	宮城県	200,000																																																																																																					
6	茨城県	200,000																																																																																																					
7	栃木県	200,000																																																																																																					
8	群馬県	200,000																																																																																																					
9	埼玉県	200,000																																																																																																					
10	千葉県	200,000																																																																																																					
11	東京都	200,000																																																																																																					
12	新潟県	200,000																																																																																																					
13	富山県	200,000																																																																																																					
14	石川県	200,000																																																																																																					
15	福井県	200,000																																																																																																					
16	岐阜県	200,000																																																																																																					
17	静岡県	200,000																																																																																																					
18	愛知県	200,000																																																																																																					
19	岐阜県	200,000																																																																																																					
20	和歌山県	200,000																																																																																																					
21	徳島県	200,000																																																																																																					
22	高知県	200,000																																																																																																					
23	香川県	200,000																																																																																																					
24	愛媛県	200,000																																																																																																					
25	高知県	200,000																																																																																																					
26	福岡県	200,000																																																																																																					
27	佐賀県	200,000																																																																																																					
28	熊本県	200,000																																																																																																					
29	大分県	200,000																																																																																																					
30	鹿児島県	200,000																																																																																																					
31	沖縄県	200,000																																																																																																					
計	全国	7,347,000																																																																																																					
			<p><b>問い:米、野菜、果物、畜産、水産物の生産が多い都道府県にはどのような特色があるのでしょうか。</b></p> <p>○統計コンテンツから、我が国の農業のうち、米、野菜、果物、畜産、水産物の生産が1~5位の都道府県と数を調べよう。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: small; margin-right: 10px;"> <thead> <tr><th>順位</th><th>都道府県</th><th>生産額(億円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>北海道</td><td>7,347</td></tr> <tr><td>2</td><td>鹿児島県</td><td>3,172</td></tr> <tr><td>3</td><td>宮崎県</td><td>2,200</td></tr> <tr><td>4</td><td>岩手県</td><td>2,200</td></tr> <tr><td>5</td><td>千葉県</td><td>2,200</td></tr> </tbody> </table> <div style="margin-left: 10px;"> <p>スライド 6</p> <p>ワーク 問題 2</p> </div> </div> <div style="margin-left: 10px;"> </div> <p>・北海道は野菜、畜産、水産物の生産が1位だ。</p> <p>・畜産は九州で生産が多いよ。</p> <p>・野菜は東京に近い千葉や茨城で生産が多いね。</p>	順位	都道府県	生産額(億円)	1	北海道	7,347	2	鹿児島県	3,172	3	宮崎県	2,200	4	岩手県	2,200	5	千葉県	2,200	<p>◆統計地図を確認し、生産が多い都道府県の特徴を読み取らせる。</p> <p>◆果物は「果実の産出額」、水産物は「漁業生産量(漁業養殖業)」を確認させる。</p> <p><span style="color: blue;">知</span> 畜産は、北海道と南九州の生産額が多く、日本列島の北部と南部に集中していることを読み取ることができる。</p> <p><span style="color: purple;">思</span> 野菜の生産額が多いのは、北海道のほか、関東地方や愛知県など、大都市周辺の地域に多いことに気付くことができる。</p>																																																																																	
順位	都道府県	生産額(億円)																																																																																																					
1	北海道	7,347																																																																																																					
2	鹿児島県	3,172																																																																																																					
3	宮崎県	2,200																																																																																																					
4	岩手県	2,200																																																																																																					
5	千葉県	2,200																																																																																																					
			<p><b>まとめにつながる問い:わたしたちの暮らしを支えているおもな食料の産地には、どのような特色があるのでしょうか。</b></p> <p>○米、野菜、果物、畜産、水産物のうち、特に調べたいものを一つ選んで、生産が多い都道府県を白地図に記入しよう。</p> <p>○自然条件を示した地図と比較して、共通する特徴を白地図に記入し、気付いたことをまとめよう。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> <p>スライド 7</p> <p>ワーク 問題 4.5</p> </div> </div> <p>・海に面している県で水産物がとれるのかな。</p> <p>→沖縄で水産物の水あげ量が少ないのはなぜだろう？</p> <p>・食料生産には自然条件が関わっていると思う。</p>	<p>◆生産が多い地域をまとめた地図と、自然条件を示した地図(地形、降水量、気温、土地利用、水産業)を比較させ、どの資料が生産量の多さに関係するかを考えさせる。</p> <p><span style="color: blue;">知</span> 野菜、果物、畜産、水産物の生産が多い都道府県を調べ、白地図にまとめることができる。</p> <p><span style="color: blue;">知</span> 北海道は、農産物のほか、水産物の生産が多く、日本最大の食料生産地であることに気付くことができる。</p> <p><span style="color: purple;">思</span> 南九州は畜産、関東地方は野菜、東北地方は米、中部地方は果物の生産が多い地域であり、地域によって特色のある農産物が生産されていることを読み取り、表現できる。</p>																																																																																																			

# デジタル地図帳 指導計画 ～米づくりのさかんな地域（南魚沼市）～

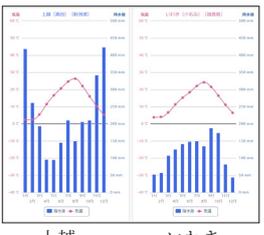
指導計画（全 11 時間）

デジタル地図帳活用のタイミング



**【活用のポイント】** 児童が「学習問題」を主体的につくるために基礎知識を習得するときに活用する。

展開時間	授業項目	○学習活動 ・ 児童の反応	◆指導のポイント <span style="background-color: #00aaff; color: white; padding: 2px;">知</span> <span style="background-color: #ff9966; color: white; padding: 2px;">思</span> <span style="background-color: #99cc33; color: white; padding: 2px;">主</span> 評価の観点
であう・つかむ	1/11 米はどこから？	<p><b>問い：わたしたちが食べている米は、どこでつくられているのでしょうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケート集約地図化ツールを用いて、児童が家庭から持ち寄った米袋に書いてある生産地を地図化しよう。</li> <li>・ わたしたちが食べているお米は近くの県でつくられているね。全国的にはどこで多くつくられているんだろう。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>スライド 3</p> <div style="background-color: #006633; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">アンケート集約地図化ツール</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自分たちが食べている米の生産地について、クラスの傾向をつかませる。</li> <li>◆ アンケート集約地図化ツールで作成した地図から、自分たちが食べている米が日本各地で生産されていることを読み取らせる。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;"><span style="background-color: #006633; color: white; padding: 2px;">主</span> 米が日本各地でつくられていることを理解し、我が国の食料生産についてどのような特色があるのかを予想して学習問題をつくることができる。</p>
		<p><b>問い：米の生産量が多い都道府県にはどのような特色があるのでしょうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前の時間で調べた、米の生産量が多い都道府県を確認しよう。</li> <li>○ 統計と、クラスでつくった地図を比べて気づいたことを記入しよう。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>スライド 5</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お米は全国いろんな地域でつくられているんだな。</li> <li>・ お米は寒い地域で特に生産が多いね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 統計地図をもとに、生産が多い都道府県の共通点を考えさせる。</li> <li>◆ 統計地図とアンケート集約地図化ツールで作成した地図を比較し、米は全国各地で生産されていることに気付かせる。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;"><span style="background-color: #00aaff; color: white; padding: 2px;">知</span> 米の主な産地を読み取り、新潟県、北海道、東北地方などが主な産地であることを理解できる。</p> <p style="margin-top: 10px;"><span style="background-color: #ff9966; color: white; padding: 2px;">思</span> 日本の米の主な産地は、北部に多く、面積が広い道県であることを考察できる。</p>

展開時間	授業項目	○学習活動 ・児童の反応	◆指導のポイント <b>知</b> <b>思</b> <b>主</b> 評価の観点
であう・つかむ	2/11 米の産地は、どんなところ？	<p><b>問い：南魚沼市はどこに位置しているのでしょうか。</b></p> <p>○ さくいんを活用して、南魚沼市の位置を調べよう。</p>  <p>スライド 2</p> <p>本図、さくいん、一枚でみる日本地図</p> <p>・ さくいんをつかったらすぐ見つかったよ。</p> <p>・ 南魚沼市は日本海が近いね。</p>	<p><b>知</b> さくいんの使い方を身に付け、南魚沼市が新潟県の日本海側に位置していることを理解できる。</p>
		<p><b>問い：南魚沼市の地形にはどのような特色があるのでしょうか。</b></p> <p>○ 南魚沼市に流れる主な河川名を読み取ろう。</p> <p>○ レイヤー機能を活用し、南魚沼市の地形の特色を読み取ろう。</p>  <p>レイヤー機能</p> <p>スライド 3</p> <p>ワーク 問題1</p>  <p>・ 米づくりに川があることが大事なのかな。</p> <p>・ 山に囲まれていることは米づくりに関係があるのかな。</p>	<p>◆ 南魚沼市の地形の特色について調べる。</p> <p>◆ 地形の特色が米づくりとどのような関わりがあるのかを考えさせる。</p> <p><b>知</b> 南魚沼市には、信濃川の支流である魚野川が流れていることを理解できる。</p> <p><b>知</b> 南魚沼市は周りが山に囲まれた盆地であることを理解できる。</p>
		<p><b>問い：南魚沼市の気候にはどのような特色があるのでしょうか。</b></p> <p>○ 南魚沼市に近い上越市の雨温図と、緯度が近いいわき市の雨温図を比べてみよう。</p>  <p>上越 いわき</p> <p>スライド 4</p> <p>ワーク 問題1</p>  <p>・ 上越市の方が冬の降水量が多いね。</p>	<p>◆ 気候の特色の違いが米づくりとどのような関わりがあるのか考えさせる。</p> <p><b>知</b> 夏の気温は上越市がいわき市よりやや高く、冬はほぼ同じぐらいの気温であることを読み取ることができる。</p> <p><b>知</b> 夏の降水量は太平洋側のいわき市が多く、冬は日本海側の上越市の降水量が多いことを読み取ることができる。</p> <p><b>思</b> 上越市といわき市がそれぞれ日本海側と太平洋側に位置していることが気候の特色の違いを生んでいることに気付くことができる。</p>
		<p><b>地図を読み解く問い：南魚沼市の米づくりと自然条件にはどのようなつながりがあるのでしょうか。</b></p> <p>○ レイヤー切り替え機能を活用し、南魚沼市の米づくりに大切だと思うレイヤーを選択しよう。</p> <p>○ 南魚沼市で米づくりがさかんな理由を、地図を使って説明しよう。</p>  <p>レイヤー機能</p> <p>スライド 5,6</p> <p>ワーク 問題 2,3</p>  <p>・ 川や降水量が米づくりに関係していると思う。</p>	<p>◆ 南魚沼市では、米づくりに適切な自然条件が整っていることを確認させて、自分の言葉で説明させる。</p> <p><b>知</b> 南魚沼市は地形や気候が米づくりに適していることを読み取ることができる。</p> <p><b>思</b> 学んできたことをもとに自分の考えを根拠をもって説明することができる。</p>

展開	時間	授業項目	○学習活動 ・ 児童の反応	◆指導のポイント <b>知</b> <b>思</b> <b>主</b> 評価の観点																												
であう・つかむ	2/11	米の産地は、どんなところ？	<p><b>学習問題につながる問い：南魚沼市ではどのような米がとられているのでしょうか。</b></p> <p>○米の食味ランキング表をもとに、新潟県の南魚沼市（魚沼）でとられている特Aの米をインターネットで調べよう。</p> <p>○おいしい米をつくるためには、自然条件のほかにどのようなことが大事か、予想しよう。スライド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>新潟県</th> <th>地区</th> <th>品種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新潟県</td> <td>上越</td> <td>コシヒカリ</td> </tr> <tr> <td>魚沼</td> <td>コシヒカリ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新潟県</td> <td>魚沼</td> <td>ななつぼし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ゆめぴりか</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新潟県</td> <td></td> <td>ふっくりんこ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ひとめぼれ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">山形県</td> <td>最上</td> <td>つや姫</td> </tr> <tr> <td>庄内</td> <td>つや姫</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宮城県</td> <td>雫石</td> <td>雫石丸</td> </tr> <tr> <td></td> <td>つや姫</td> </tr> </tbody> </table> <p>7.8 ワーク 問題 4.5.6</p> <p>・どんな人が南魚沼市でお米をつくっているのかな。 ・おいしいお米をつくるためにどんな工夫をしているのかな。</p> <p><b>学習問題：米づくりのさかんな地域では、人々がどのようにくふうや努力をして米を生産しているのだろう。</b></p>	新潟県	地区	品種	新潟県	上越	コシヒカリ	魚沼	コシヒカリ	新潟県	魚沼	ななつぼし		ゆめぴりか	新潟県		ふっくりんこ		ひとめぼれ	山形県	最上	つや姫	庄内	つや姫	宮城県	雫石	雫石丸		つや姫	<p>◆南魚沼市の米づくりに興味を持たせる。</p> <p>◆米をつくるためには、自然条件が整っているだけでなく、米づくりをしている人々の努力や工夫が必要であることを気付かせる。</p> <p><b>知</b> 表から魚沼で栽培されている米の品種を読み取ることができる。</p> <p><b>主</b> 米づくりのために必要な努力や工夫について予想して学習問題を立てることができる。</p>
新潟県	地区	品種																														
新潟県	上越	コシヒカリ																														
	魚沼	コシヒカリ																														
新潟県	魚沼	ななつぼし																														
		ゆめぴりか																														
新潟県		ふっくりんこ																														
		ひとめぼれ																														
山形県	最上	つや姫																														
	庄内	つや姫																														
宮城県	雫石	雫石丸																														
		つや姫																														
調べる	3/11	学習問題について予想して、学習計画を立てよう																														
	4/11	一年間の米づくり	教科書に沿って、南魚沼市ではどのように米づくりをおこなっているかについて、人々の生産の努力や工夫、南魚沼市の歴史的な背景などについて学習する。	必要に応じて地図帳を活用する。																												
	5/11	安全でおいしい米をつくるために																														
	6/11	よりよい米づくりをめざして																														
	7/11	作業しやすくするために																														
	8/11	おいしい米をとどける																														
	9/11	米づくりがかかえる課題																														
	10/11	これからの米づくり																														
まとめる	11/11	まとめ																														
				<b>まとめ：米づくりにかかわる人々は、自然条件を生かしたり、生産の工程や輸送方法をくふうしたりして、安全でおいしい米を消費者に届けるために努力している。</b>																												

### 評価につながるポイント

- 思** 南魚沼市の米づくりと自然条件がどのように結びついているか、資料を使って自分の言葉で説明している。
- 主** 南魚沼市の自然条件やとられている米について調べたことをもとに、児童が主体的に学習問題をつくらうとしている。